

# 突ばりシューズラック 16足用 TSR-55 / 24足用 TSR-70

●製品外寸法(約)取り付け高さ範囲190cm~264cm 幅55cm16足用 / 70cm24足用 奥行22.5cm (設置奥行29cm)  
 ●耐荷重:16足用 棚1段につき2kg 8段合計16kg / 24足用 棚1段につき3kg 8段合計24kg

## 取り扱い説明書

### △組み立て前のご注意

- 本製品はネジ・釘を使わずに支柱を天井と床に強力に圧着して取り付けますので、下地のしっかりしている場所に取り付けてください。やむをえず弱い所に取り付けると、破損を防ぐため、市販の木板などで補強することをおすすめします。
- 傾斜した天井・床面には取り付けしないでください。転倒の原因になります。
- 火気や熱源のそばには、取り付けしないでください。
- 組み立て、設置はお二人でしていただくことにより容易に行えます。

### △組み立て上の注意事項

- 組み立ては、十分な広い場所で行ってください。また、床などにキズがつかないように布をして行ってください。
- パイプ端面には直接手を触れないでください。ケガの恐れがあります。(手袋を着用して作業を行ってください。)
- 改造や分解は危険ですのでしないでください。
- 圧着固定式ですので、ネジ類はしっかり締め付けてください。弱いと本体の転倒や棚の落下の原因になります。
- 小さな部品等がございます。作業中は特にお子様にご配慮ください。

### 部品一覧

※下図の部品がそろっているか確認してください。

下支柱 2本	ネジ付リング	棚 8枚
中間支柱 2本	長さ固定ネジ	
上支柱 2本	16個	

### 組み立て方

**1 下支柱のグリップ部分の確認**  
 グリップを「つっぱり」の表示方向に回し、グリップが動くことを確認します。次にグリップの端部をスタート線の位置まで戻します。  
 ※必要以上のもどしすぎは、破損の原因になります。(再度、取り付け直す場合はグリップを必ずスタート位置まで戻してから行ってください。)

**2 支柱の組み立て**  
 ①下支柱にネジ付リングを8個通します。  
 ※リングにセットしてあるネジを下支柱を通るまでゆるめてから行ってください。(ゆるめないとパイプに通らなかつたり腐の原因になります。)  
 ②下支柱に中間支柱を連結させます。  
 ※連結部は抜ける恐れがありますので、移動時や立てる時は下支柱を持って移動してください。

③次にストッパースリーブの長さ固定ネジをゆるめて上支柱を差込みます。(ゆるめないと上支柱が通らなかつたりキズの原因になります。)

④上支柱が全部入り込まない程度で長さ固定ネジを締めて仮止めします。  
 注意) 支柱を垂直に立てたときに上支柱が滑り落ちない程度に仮止めてください。

※もう1組の支柱も同じ手順で組み立ててください。

**3 支柱の設置**

- ①※設置場所の天井、床等の強度を再確認してください。
- ②組み立てた支柱の1本を設置場所に立て、(壁から7cm程度あけて設置してください)仮止めしてある長さ固定ネジをゆるめて、上支柱のキャップが天井面に当たるまで押し上げます。(注意:この時、上パイプを離すと急に落下します。)
- ③長さ固定ネジを根元付近までしっかり締め付け、長さを固定します。(締め付けが弱いと転倒の原因になります)
- ④支柱が垂直になるよう注意し、下支柱のグリップをシール表示の「つっぱり」の方向にまわし、支柱が倒れない程度に仮圧着固定をしてください。
- ⑤次に棚1枚を下図のように置いて設置場所の目安とし、もう1本の支柱を2.3.4の手順で仮圧着固定してください。
- ⑥支柱が2本とも垂直になるように調整してください。
- ⑦グリップを「つっぱり」の方向にまわし、しっかり圧着固定します。支柱を引っ張ってしっかり圧着固定されているか確認してください。

注意) 取り付け面を破損しないように状態を確認しながらグリップをまわしてください。  
 注意) 圧着固定をする際、支柱が壁に引っかかると適切な圧着固定ができませんので、支柱を支えてグリップをまわしてください。  
 注意) 「ストップ線」の表示を越える場合は、取り付け方法に誤りがあるか、取り付け場所が適していないことが考えられます。取り付け面の強度を再確認の上、はじめからやりなおしてください。

**4 ネジ付リングの配置**

- ①一番上のネジ付リングをストッパースリーブの下まで持ち上げ、ネジが壁側になるように締め付けて固定してください。
- ②次のネジ付リングを約20cmあけて固定してください。(本紙右側の「ものさし」をご利用ください。)
- ③同じ要領で残りのネジ付リングを等間隔で固定してください。
- ④もう1本の支柱も同じ間隔でネジ付リングを固定してください。
- ⑤全てのネジ付リングのネジを水平にしてください。(水平でない棚が水平取付できません。)

注意) ネジを水平にしてください。  
 注意) 左右のリングの高さをそろえてください。左右の高さが違うと棚が取り付けられません。

H120719A10

**5 棚の設置：水平に取り付ける場合(最上段の棚)**

- ①棚の両端部分を、取り付けネジ付リングの下支柱部分に片側ずつ入れます。
- ②図の状態のように支柱と支柱の間に入ったら水平に持ち上げます。
- ③手前を上げながら回転させネジ付リングの下側の溝に棚の引っかける部分をはめてください。
- ④溝にはまったら、図のようになっているか確認してください。

**6 棚の設置：斜めに取り付ける場合(最上段以外の棚)**

- ①棚の両端部分を、取り付けネジ付リングの上支柱部分に片側ずつ入れます。
- ②図の状態のように支柱と支柱の間に入ったら水平に下ろします。
- ③手前を下げながら回転させネジ付リングの下側の溝に棚の引っかける部分をはめてください。
- ④溝にはまったら、図のようになっているか確認してください。

**7 棚の高さ調整および最終確認**

- 横から見て壁と平行になっているか確認してください。(壁と平行でない場合、全体が倒れる恐れがあります。)
- 靴の高さや使い勝手に応じて棚の高さを調整してください。
- 調整が終わりましたら、グリップや全てのネジ付リングのネジがしっかりしまっているか確認してください。
- ご使用の途中でも高さの変更は可能です。その場合片側ずつ調整すると、棚を外さなくても調整できます。(ネジ付リング同士の隙間を6cm以下に調整した場合は棚の取付、取り外しはできません。)

どちらの向きでも置くことができます。

最上段を除く以外の棚も水平に取付可能

下側、棚を斜めに取り付ける場合は、ネジ付リングをいったん下げ、棚を垂直に込んでから水平に上げてください。

ヒールのある靴はヒールを掛けて前向きに置いてください。全長が14~17cmの靴は棚を水平に取り付けておいてください。

段差のある場所へ取り付ける場合は棚を床面と水平になるように、ネジ付リングの高さを調節してください。(段差に応じて、棚の間隔を調整するか、段数を減らしてご使用ください。)

**△使用上の注意事項** ※注意事項は必ずお守りください。

- この商品は室内でご使用ください。また、他の用途には使用しないでください。
- 支柱や棚を強く引っ張ったり、ゆすくと転倒や破損の原因になり危険です。また本品によりのぼったり、ぶらさがり行為は絶対にしないでください。お子様は特にご注意ください。
- 前荷重の範囲内でご使用ください。
- 荷重は均等にかかるように靴を置いてください。
- 高温・多湿になる所や、直射日光が当たる場所では使用しないでください。
- 取り付け2~3日後、圧着状態を確認し、弱いときは圧着力を増してください。また、使用しているうちにネジ等のゆるみが発生し、ぐらつきが大きくなる場合がありますので定期的に点検し、(一ヶ月に2回程度)調整を行ってください。
- ねじ類がしっかりと締め付けられているか、定期的に点検してください。
- 設置場所を変更する場合は、全ての棚をいったん外してから支柱を移動させてください。移動は下支柱を持って行ってください。
- 土や泥の付いた靴を置くか下の靴に落ちますので、それらを取り除いてから置いてください。
- 使用中に変形や破損、ひび割れなどがなければ、定期的に点検してください。もし、異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 汚れは水で濡れた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭きとってください。たわし、磨き粉で磨くと傷が付きやすくなります。
- 天災などの不可抗力、経年劣化、改造、誤った使用方法による故障・破損などに対する補償等はいたしません。

※吊り下げたため予備なく仕様及び外観を変更することがありますので予めご了承ください。  
 ※製品につきましては万全を期しておりますが、万一不具合などが生じた場合はお手元で下記連絡先までご連絡ください。  
 ※印刷の都合上、色調は実物と異なる場合がございます。

材質表示  
 支柱パイプ...鉄・工ボキシ樹脂粉体塗装  
 棚...鉄・工ボキシ樹脂粉体塗装  
 樹脂部品...ABS樹脂、合成ゴム  
 ネジ類...鉄・ステンレス

DESIGNED IN JAPAN 120719V  
 MADE IN CHINA

HEIAN 平安伸脚工業株式会社  
 SHINDO TEL 06-6228-8986  
 9:30-17:00(土・日・祭日除く)  
 www.heianshindo.co.jp

H120719A10